

75 歳以上の医療費窓口負担 2 割化撤回を

“後期高齢者を必要な医療から遠ざけるもの” 県議会で高田県議が請願採択を訴える

県議会に提出していた請願「後期高齢者の医療費窓口自己負担 2 割化方針の撤回を国に求める意見書の提出を求める請願」は、3 月 18 日の県議会本会議にて不採択とされました。

紹介議員のひとりである高田県議（共産党）は、討論に立ち、「政府は後期高齢者医療制度を導入した際の「1 割負担で心配なく医療が受けられる」としてきた説明を反故に」するものだと批判。また、「コロナ禍で受診控えも起こるなかで、医療費窓口負担の引き上げは後期高齢者を必要な医療から遠ざけ、生活と健康に大きな悪影響を及ぼす」とし、請願の採択を求めました。

「#医療費窓口負担 2 倍化止める」緊急国会内集会 署名累計 84 万筆こえる

～岸本周平衆議院議員（和歌山 1 区・国民民主党）も激励にかけつける

医療団体連絡会議・日本高齢期運動連絡会・全日本年金者組合・中央社保協は、3 月 18 日に国会内で「#医療費窓口負担 2 倍化止める」緊急国会内集会を開催しました。野党各党から国会議員が続々と激励に来られ、和歌山 1 区選出の岸本周平衆議院議員（国民民主党）もかけつけました。

要請団は、三原じゅん子厚労副大臣に面会し、法案の撤回を求めました。75 歳以上の医療費窓口負担 2 割化に反対する署名はこの日、62, 777 人分提出され、累計で 84 万 5, 340 筆となりました。100 万筆目標達成を目指しています。

※75 歳以上の医療費窓口負担 2 割化に反対する署名用紙あります。活用下さい。

◎岸本周平議員との懇談会を開催

ワクチン接種の現状、医療機関の経営、医療・介護従事者の実態等を伝えました



3 月 7 日、和歌山県 1 区選出の岸本周平衆議院議員（国民民主党）との懇談会を行い、県地評、保険医協会、民医連、医労連から 6 人が参加しました。参加者からはワクチン接種が思うように進んでいない問題、コロナの影響で医療機関の経営が悪化し、働く職員のボーナスがカットされていること、人手不足の実態などが紹介されました。また、医療機関への減収補填の考えを持って、国や県が保障を行う必要があると、支援をお願いしました。

岸本周平議員は、中央では住江保団連会長ともお会いしていると、「今日いただいた現場の声を持ち帰り国会活動に反映させます」と話されました。

25 条署名活動のご案内

- 日時 3 月 25 日（木）お昼 12 時 15 分～1 時
- 場所 JR 和歌山駅前にて
- 75 歳以上の医療費窓口負担 2 割化反対の署名活動を行います。